

www.tokyodesignflow.com

¥100

DECEMBER 2008, JANUARY 2009

Published by MEDIA SURF COMMUNICATIONS



Face to "PEACE".

平和に顔を向ける。

Design & philosophy

デザインの中で泡が消え、新しい流れが湧いてくる予兆。 明日は何を食べ、今日の生活が変わるのだろうか。 これらは全て、当たり前なことと思われていたことが、実は虚構であり、 正しいと思われていたことが実はまちがいであった。 デザインと思っていたことが大したことなかったのではないかと我々に気づかせる。

Access to tools

全てのモノを道具と考える。服を防寒、体を守るものと定義する。 全てのものをサバイバルのための道具と考えて生活をもう一度デザインしなおしてみることが今求められている。 自動車、自転車を移動手段の中のオプションとして組み込む。 本とウェブとラジオと携帯電話を同時にコミュニケーションの方法としてとらえ直す。

Reset your settings

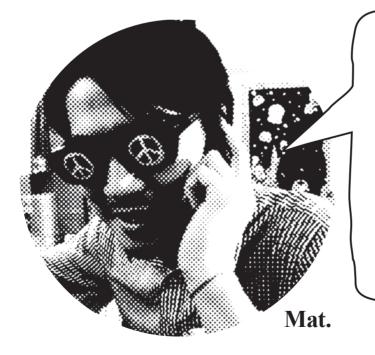
初期設定の変更。始めに設定した価値観に基づく全ての基準をリセットする時期が定期的にくるもの。 今はそのときと言える。

Revolution and Coup d'Etat

革命を体制を根本的にひっくり返すこととするならば、クーデターは上層部の仕組みが変わることを言う。 現在はむしろコミュニケーション能力と創造性の違いこそが大きな差を付ける要素、 すると今起きていることはクリエイティブクラスのクーデターと言えるかもしれない。

Where have been the future gone?

未来はどこに行ってしまったのか。それはみんなの夢の中か、胃袋の中か? 未来とは未だ来ないこと全てを言う。良かろうが悪かろうが時は流れてやってくる。 そのときにどう生きるかが大切だ。潔く、奇麗に、威張らずにやって行こう。



「いや、マジ最初は本当に勢いだけだったんだよ。

うん。うん。そうそう。でもやっぱりオレら、東京で仕事して、遊んで、生きてるわけじゃん。いろ んな人と会って、話したらやっぱ最近ちょっと東京元気ないんじゃない、みたいな感じなわけ。 いや、だから元気ないってのは、別になんか数値的なデータ見て、とかってわけじゃないのよ。 ん?元気ないことないって? まあ、確かにそんなこと一概に言えないわけだけども。なんか日々 歩いてて感じてきてるってだけかもね。でも、実際にくる人や落とされるお金が減っている、っ ていろんなとこから聞こえてくるのよ。

ああ~!確かに。経済が世界規模でヤバくなってるもんね。 それは確かにあると思う。でも、な んていうかな、そういう難しいのはよくわかんないけどさ、毎月継続的に最終木曜日を盛り上げ るイベント、それがLAST THURSDAY。 いや、だからラスト。英語で最後って意味のLAST と木曜日って意味のTHURSDAY。そうそう。英語ね、イングリッシュ。

そういったイベントなんかも含めて、まずは東京の今、を発信するいろんな情報のハブにもなり ポータルとしても機能するメディアがTOKYO DESIGN FLOW ってわけ。叡智の集合がこ れからの新しい時代を切り開く、的な。

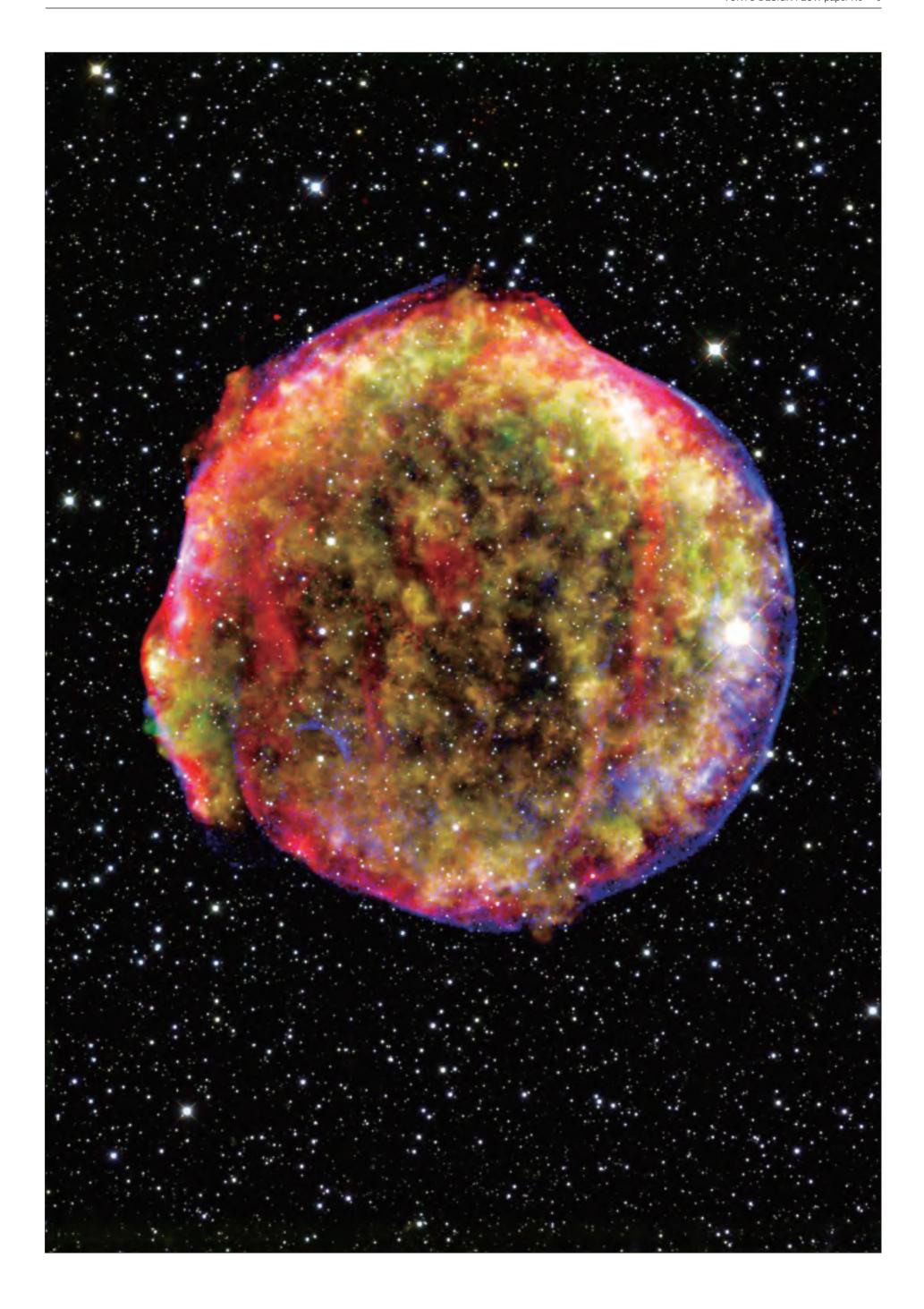
まあ、そんなことはさておき、今度いつヒマ? 飯行こうよ。 美味しいとこ・・・え、時間ないって? てか、もう電話してこないで、って? そんなこ・・・」

TOKYO DESIGN FLOW organized by Media Surf Communications Inc. www.mediasurf.co.jp info@tokyodesignflow.com

TOKYO DESIGN FLOW paper Publisher: Teruo Kurosaki Producer: Akihiro Matsui (Media Surf Communications Inc.) Editor in chief: Daisuke Horie (Media Surf Communications Inc.) Editor: Kivo. ToM. Yusuke. (Media Surf Communications Inc.)

Art Director: Kazuhisa Yamamoto (Donny Grafiks) for Media Surf Communications Inc. Designer: Donny Grafiks, Katsuyo Takaiwa, Makiko Fujiwara, Tomoki Uematsu

Photographer: HORI, Kiwako Imai, Nobuya Agune



僕らの"平利"はどこにある? Where is the

東京ピストルの クサナギが選ぶ 2008

text: 草彅洋平(東京ピストル)

今年も最悪だ。生きていて何もいいことがない。これは平成20年において正常な認識なのだろうか。それとも僕が不幸なだけかは定かではない。

ひたすらビール焼酎マッコリ日本酒ウィスキージンウォッカを飲み、フライドポテトからあげ刺身すし枝豆いか納豆ピザだし巻き玉子カレー南蛮を口に入れ続けた結果、腹囲が驚くべきほどのメタボリックになったこと以外、僕に何があったというのだろう? 酔っぱらう以外に世の中はまったく退屈であった。

からっぽの世界に漂流する僕は、虚無感に身を任せて今年もいろいろたくさんのものを読んで、見て、聞いてきた。その中からベストを選ぶとすれば、当然自分のカラカラに枯れた気持ちを一瞬でも忘れさせてくれた作品を選ぶよりない。

世相に関しては世界経済恐慌、秋葉原事件、チベット軍事介入など暗い話ばかりであったが、秋も深くなろうとしている10月、皇居で一人の外国人が頑張ってくれたことによってできた明るい話題「全裸の外国人が皇居のお堀に飛び込み遊泳&警官相手に大暴れ」がいまだに忘れられない。「痛いニュース」ではこの全裸外人がアート作品になったり、ほのほのレイクの絵文字になったりと大活躍した。この男に文句なしでニュース部門の1位をあげたい。

ゲームは『グランドセフトオート4』のクオリティーが一番だった。ロックスターが作り出すキャラクター設定は『BULLY』もそうであったが全員の人格が皮肉屋で毒がきいている。商品に毒がある、という点だけでこの資本主義社会では貴重なことに思える。

映画は『バットマン ダークナイト』が頭一つ抜けていた。身を守る銃器が存在することによって殺人が起こる。正義のバットマンが存在することによって、悪のジョーカーが存在する。物事には必ず裏表があるという2フェイスの存在しかり、ヒーローはそもそも不必要な存在であるというテーマがアメリカ社会の病理をつき、さらにより深い問題を提示していた。このレベルの作品を大衆向けにアウトブットするアメリカとは恐ろしい国だ。アホな映画ばかり作って儲けている日本は恥じるべきである。

特筆すべきはアニメであった。アニメはいま一番おもしろいジャンルかもしれない。というのは現行の小説に文学を感じないが、アニメには文学を感じたのだ。中世から未来、東洋と西洋、デスノート的主人公からロボット、やおい、萌え。すべてをマーケッティングリサーチの結果詰め込んだ『コードギアス』シリーズは、現代のすべてを注ぎ込んだアニメだといっても過言ではない。

とはいえ僕が最もハマったのは登山で あった。不自然な運動として、フィットネス やジムを嫌っている僕が唯一登山を好い ているのは、登山がスポーツでなく死に向かって歩くゲームだからであろう。そう、死しか僕らを楽しませることができないのだ。だから僕は石塚真一の『岳』を読んでボロボロと泣く。明日も、来年も酒を飲むために、だ。

○東京ピストルのクサナギが 勝手に選ぶ2008年ベスト○

[ニュース部門] 全裸の外国人が皇居のお堀に飛び込み 遊泳&警官相手に大暴れ

遊泳&警官相手に大暴れ
[ゲーム部門]
『グランドセフトオート4』
[映画部門]
『バットマン ダークナイト』
[アニメ部門]
「コードギアス R2」
[マンガ部門]
『岳』石塚真一
[出版部門]
『日本 根拠地からの問い』
姜尚中十中島岳志

登山&アウトドア全般



草彅洋平 デザイン&エディトリアル界のルネッサンス「東京ビスト ル」で企画と編集を担当しています。

日本は「稼ぐギャル」を武器にできるのか?

text: RIKOmania

乱気流のように景気がうねる'08年が終わり、生き残りをかけて誰もが勝負を迫られる'09年が幕をあける。この5年、渋谷でのんきに会社をやりつつ、PartyLoverな暮らしを続けてきた私も、気合入れないとねと思ったり。

さようならエビちゃん

常々、エビちゃんは不景気の象徴だと思ってた。「"キレイ"のレッテルを貼ってもらえるかで、女の一生には3億円の差ができる」と武田人美子が著書で名言を吐いていましたが(「かわいいね、飴あげようか」から始まって、積み重なると3億ぐらいの差にはなるという含蓄?のある内容)。バブル時代の女子は男ウケを完全無視だったと思うんですよ。死体みたいな色の

ドス紫リップとか。ブスでも塩化ビニールで出来てる難しい服を着ていても、男にガンガンお金を使ってもらえる景気のいい時代なら、「愛される」男ウケ重視のファッションに走る必要がないから。エビちゃんがちやほやされているのを見ると「ああ、食べさせてもらわないとヤバイなって、媚びてるのね。景気悪いなぁ」と感じてたわけです。

小悪魔?稼ぐギャル

そんなエビちゃんフィーバーが下火になった 108年、渋谷に増殖しだしたデカイ金髪 アタマの女子。男子がギュッと抱きしめた ら、パリバリバリッて音がしそうなエイリア ン状の盛りへアを見て「これはまた景気が よくなったのか?」と思ってみてたらちょっと 事情が違う。

'08年に人気が急上昇した雑誌「小悪魔 ageha」に登場するキャバ嬢系な女子は、「もっとキレイになりたい!」だけじゃなく「お金持ちになりたい!」という欲望までもケロリとさらけだすパワフルさ。キャバ嬢から起業家へ転身を軽やかに見せる女子も多数。愛されたいけどお金無いのもヤバイから、「稼ぐギャル」が登場したわけで。

稼げるギャルをどう生かす日本

お金を稼ぐのも使うのも、若い女の子。 頼もしい。でも随分と小粒な好景気だ。 この元気のよさを利用して、外国からお 金を吸い寄せる大きな仕組みを作るには、 やっぱりオジサンたちにもっと頑張ってもら

没ないと。 渋谷から原宿にかけて、明治通り沿いを一本入った「キャットストリート」という通りがあるのですが。小さなショップが並ぶ 「日本が生んだリアルクローズの象徴」といったところ。それは海外高級ブランドの 老舗が並ぶ表参道と交差してて、私はそこを歩くたびにちょっとドキドキする。表参 道にひしめく若い女性を見ると、海外にどんどんお金が出て行っているのを目の当 たりにするし、キャットストリート近辺をデジカメ片手に買物する海外旅行者を見る と、頑張れ日本って思う。

「稼ぐギャル」たちが今後創造していくビジネスは、かつての家電や車みたいに、日本を救うビジネスにならないかなぁ?彼女たちのキラキラした欲望と才能が、どうやったら世界に飛び立てるかしらと、'09年はみんなでアタマをひねってみませんか?



RIKOmania 渋谷の小さな企画チーム・株式会社 RIKOmaia 代表。 広告に関するコラムを専門にフリーとして活動後、25 歳で会社を設立。消費者代表の目線から、買物した 人が得する企画を練ることが信条。企業のPRイベント などを企画する傍ら、プライベートでアートイベントの主 催をするなど、公私に渡りパーティを企画する日々。 ちなみに会社の標語は「パーティは全員野球」。

国連カジノと 暦ガエ

text: 伊藤洋志

今年といえば、原油1バレル100ドル突 破と冷凍餃子に殺虫剤メタミドホス混入が まざった事件にはじまり、北京オリンピック とチベット弾圧、福田首相突然の辞任と それに伴う「あなたとは違うんです」発言、 大相撲の八百長問題、秋葉原の殺傷事 件、元社会保険庁事務次官襲撃事件ま でなんでもありの状況でした。こう書いて みると一つ一つ大事件なのに、いざ今年 を振り返ろうとするとすぐに列挙できませ ん。一つ一つを十分に検証するヒマもな く、事件は次々に起こります。かくいう私 は、1バレル100ドルというのがどれくらい 高いのかいまいち分かってませんし(1980 年は1バレル40ドル前後)、1バレルが約 159リットルということもさっき知りました(な にしろあまり車に乗らないので)。

それはともかく、今年は原油と食料とい う人間活動の主要エネルギー源の事件 からはじまったわけですが、エネルギーに 並んで重要な住についてはサブプライム ローンも破綻したらしいのです。らしいの ですというのは、サブプライムローンという ものを見たことがないからです。新聞の 広告局につとめるわたくしの友人は、いま は不動産担当なのですがが「取引先に× をつける日々です」と言っておりました。経 済のグローバル化とは、まさにこういうこと なのですね。太平洋を挟んだ、謎のアメ リカの金融商品の影響が日本にまでやっ てくると。対岸の火事で、会社がバカバ カ潰れるというのは何事でしょう。 そもそ も、砂上の楼閣だったのかもしれません が。ある専門家がいうには、投機が原因 だということらしく、「投機筋」と正体不明 の人たちがいるらしい。そんなにバクチ が好きなら、生活必需品を巻き込まずに やってくれないものでしょうか。国連がい ま平和のためにやるべきことは、超巨額 なカジノを開設すること。投機は現物を 介せずに、そこでやる。場所は、どこで もいいけどいっそのこと海上空母でやった らどうでしょうか。

書いててこのさき、どうなるのだろうと 不安になりました。自分個人でよかったこ とを振り返ってみることにました、なにが あったやろう…、あ、農業ウェブマガジン を立ち上げました、あとモンゴルに行きま したし、94歳のおじいさんの薬草園に一 週間ほど見習いをしました。三つもできご とがあれば御の字ですね。若干安心しま した。いや、そもそも旧暦では、まだ今 年は終わってないじゃないか、という話も あります。旧暦は、自然の周期に合って 農業とかに都合がよいのに、グレゴリオ暦 を採用したのは閏月をなくして月給を減ら そうとしたという話もありますから、時間の ものさしを変えるのがいまの煮詰まったシ ステムには一番効くのかもしれません。と りあえず旧暦気分で年末を引き延ばそう ということを提案したいと思います、以上



薬草ジュースを飲む筆者

nation to

伊藤洋志 物書き起業家 土間つきカマドありの家「下馬土間の 家」のナリワイギャラリーの運営やイベント企画など モンゴル武者修行ツアー、熊野暮らし方デザインスクー ルなどのワークショップも企画運営している、農業ウェ ブマガジン「ザックサック」編集長 http://www.zackzack.jp/ ナリワイ http://www.nariwai.org/

バブルは オシャレだった

~表参道の窓から~

text: 木下拓海

僕はフリーで雑誌編集を主にやっています。フリーという身分なので、雑誌稼業の傍ら、たまにホームページの編集なんかもやっています。その中でも特に不動産関係のホームページはお金がよく、僕にとってはおいしい仕事です。いや、もう"でした"と言うべきでしょう。一昨年から去年にかけて、とある不動産投資ファンド会社から仕事をいただいていたのですが、その親会社の不動産デベロッパーが今年になって倒産してしまったのです。

思えば仕事をもらっていた当時、会社内に流れる妙なテンションに違和感を感じていたものです。「東京改造!」「目指せNY進出!」「デザイナーズ!」「カリスマ○○との究極のコラボレーション!」。幕末の志士に自分を重ねあわせた社長の鼻息(奥さんが妙に若い)、徹夜自慢の社員たち(実は日中、株ぱっかやってる)、訪問するたびに増えていく一方のデスク(オシャレ、でも安そう)。当時の僕はやや引き気味でした。もう後戻りできなそうな前のめりさに。

取材のためにお会いしたあの社長、あ の専務、あの新入社員たちはどうしてい るんだろう? そういえば、社長のありが たい哲学を盛り盛りにした社員10か条な んてのも作ったなー、結局あれは間違い だったんだなー、などと家の裏にある空 き地を見て今、思います。ここも表参道 バブルで弾けた夢の跡。ヒルズブームに 乗っかって建てられたであろう、その空き 地の隣のオシャレビルも、ずっとテナント募 集中です。虫食い状に残る空き地の中の いくつかは、もう長期戦を決め込んだの か、鋪装もしないままコインパーキングとし て営業を始めています。おかげで表参道 ではコインパーキング戦争が勃発し、一 時期よりずいぶん安くなりました。夜10時 ~朝8時なら1時間100円は当たり前です。

"PEACE"

Review of 2008

ついでに言うと、その空き地の近くにあ る犬の顔のブランドも、去年まではセール か何かの際には開店前から列がずら一つ とできていた (先頭には雇われホームレス の姿も!) のですが、地方のお上りさんが 減ったかなといった頃合いに中台韓の観 光客が押し寄せてきて、今では彼等の影 すらもなくなってしまいました。円高のせ いでしょうか? そして今年秋のデザイン なんちゃらイベントの寂しさたるや…。外 苑でやっていたやつにちょっと足をのばし てみたんですが、あまりに閑散としていて 隙間風が冷たかったです。

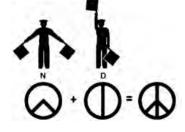
結局オシャレってバブルだったんです ね。いや、バブルがオシャレだったのか。 前回のバブル期に一世を風靡した映画 『私をスキーに連れてって』『彼女が水着 にきがえたら』『波の数だけ抱きしめて』の 監督である馬場康夫さんを以前取材した 際に、彼は当時のバブルについてこんな ことを言っていました。

「バブルは金持ち一年生。日本人全員が みんなでお金の使い方を学んだ時期。こ の勉強があったからこそ、今、豊富な種 類のチーズやワインが適正な値段で買え るんだ」と。なるほど。これまではアメリ カや中国のおかげで手にしたあぶく銭を 使って、デザインやイベリコ豚を日本人全 員が学んだ時期だったんですね。このお かげで日本人の目は肥えたんですね。い いことだ。よ~く分かります。先述のホー ムページのギャラで買った10数万円もす るハーマンミラーのデスクチェア。冷静に なって今考えてみると、やっぱり座った具 合がどうも悪い。我が家のバブル遺産決 定か? 僕の目もちょっとだけ肥えた気が します。



木下拓海(きのしたたくみ/編集者) フリーの編集者として「テレビブロス」など。茨城県つく ば市出身。現在、表参道に在住。趣味は釣りと飛行 海洋学者である父の転勤で13歳から17歳まで 南太平洋の島国「フィジー」に住んでいたことから「フィ ジーさん」とも呼ばれる。高校の柔道部の友人が命名。

DECODING THE LOGO



Armless Army(武器を持たない軍隊)、不況を救う!?

text: 萱原正嗣(カヤハラマサツグ)



年末の風物詩となっている「社会鍋」。「救世軍 (The Salvation Army)」が行う街頭募金だ。1909(明治42) 年に始まったこの活動は、今年で100年目を迎え、俳句 の季語にもなっているほど社会に定着している。そんな 長い歴史を持つ「社会鍋」と、それを支える「救世軍」だ が、その実態や歴史については案外多くの人が知らな いのでは? ということで、「社会鍋」と「救世軍」につい て紐解いてみよう。

「救世軍」は、国際的なキリスト教プロテスタントの教会 であるが、社会福祉事業も行っている。「キリスト教なの に、なぜ『軍』なの?」と思われる向きもあるだろう。それは、 軍の効率的な組織形態を採用したことがきっかけだ。発 祥は1865(慶応元)年。イギリス・ロンドンに「万国本営(本 部)」を置き、最高指導者「大将(The General)」(現在 18代目)によって統率される。日本では1895(明治28) 年に活動が始まり、現在では神田神保町にある「大本営 (本部)」を中心に、全国に49ある「小隊(教会に相当)」 で、礼拝のほか日曜学校、募金活動と共に様々な奉仕 活動を行っている。

「救世軍」には一般信徒の「兵士(soldier)」と、生涯 を奉仕に捧げる「士官(officer)」とがいる。「士官」にな るには「士官学校 (Training College)」で専門の訓練 を受ける必要がある。「士官」には階級があり、「中尉」 →「大尉」→「少佐」→「大佐補」→「大佐」→「中将」→ 「大将」と昇進していくところはまさしく軍隊だ。

だが、「軍」は名前ばかりではない。その効率的な 組織運営たるや、組織のマネジメント研究で高名なピー ター・F・ドラッカーに「救世軍は、アメリカで最も効率の 良い組織(the most effective organization in the U.S.)」と言わしめたほどだ(米国『Forbes』 誌 1997 年 8 月 11日号)。

社会的な知名度も高く、イギリスで政府に次ぐ規 模の社会福祉団体で、国際連合社会経済理事会 (ECOSOC) において1947年以降、特別協議資格を 持つ国連NGOでもある。また、その業績が評価され、 ノーベル平和賞に1991年、1992年、2004年の3度ノミネー トされている。 また、日本では公共職業安定所 (ハロー ワーク) より早く、日本で初めて職業紹介を始めた歴史を 持つ。

「社会鍋」の起源は、1894 (明治27) 年にアメリカの「救 世軍」がサンフランシスコで失業者対策として始めた「ク リスマス・ケトル(三脚にスープ壺をぶら下げて募金をす



るスタイル) | にある。これをヒントに日本の「救世軍 | が日 露戦争後の不況のさなかの1909(明治42)年に始めた のが、スープ壺の代わりに鍋をぶら下げる街頭募金だ。 当時は「集金鍋 |「三脚鍋 |と呼ばれ、その後「慈善鍋 |と して広まったが、1921 (大正10)年に「社会鍋」と名称を 改め現在に至る。街頭生活者支援、高齢者・母子家 庭慰問、病人・障害者慰問、国内外の緊急災害被災 者支援など、100年にわたる歴史の中で多くの人々を救っ てきた、という訳だ。

リーマン・ショックで世界的な大不況が訪れると言わ れているが、そんな不況の世界を救うのは、Armless Army (武器を持たない軍隊)、「救世軍」かもしれない。 なお、米CNNでは、不況の影響もあり「救世軍」の募 金活動が様変わりしていることを伝えている (2008年12 月6日)。それは、街頭での募金額の減少やボランティ ア参加者の減少と、それを補うためのインターネットや携 帯電話を使った募金システムの登場だ。もちろん、日本 からでもインターネット募金は可能だ。街頭の「社会鍋」 にお金を投じるもよし、インターネットで募金をするもよし、 不況を救う「救世軍」の活動を支援してみてはいかが?



※募金の呼びかけ

街頭募金は12月10日より全国主要都市、41人は各地の小隊にて開催

インターネット募金はこちら(英語サイト。 VISA か Maser のクレジットカー ドが必要です)。https://securel.salvationarmy.org 必要事項を記入しデータを送信。「specific use」(寄付目的)の欄には 「Shakainabe Collection」と記入してください。

もしくは、郵便振替、現金書留での募金も可能です。 郵便振替口座:00180-5-4400 加入者名 救世軍本営 (通信欄に「社会鍋」とお書きください) 現金書留:〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 救世軍本党宛

トモジです。

text: ToM. (TOKYO DESIGN FLOW)

6月から始まったTDFも12月25日 (何とクリスマス!) で 7回目を迎え、約半年間マンスリーで走り続けてきまし た。関係者、イベントに来ていただいた方には感謝のし ようがないっす。ありがとうございました!これで終わるこ となく、来年も再来年も邁進していく予定であります。乞 うご期待! TDFが他のイベントと大きく違う点は、室内で 完結するクラブイベントとは違い、毎月、原宿、表参道の 「街」がメイン会場であるところです。

原宿の街には人々が生活する家、カフェやバー、世 界的なスポーツメーカーからファッションブランド、など世 界的に見ても例のないほど、大小様々な店舗が集まっ ています。しかし近年、商業主義が進み原宿の店舗が

広告塔となり、観光地化し、街の魅力が失われつつあり ます。本来原宿の街の魅力は商業店舗にあるのではな く、そこに集まる人々によって街が活気づいていたはず です。裏原カルチャーの台頭によって、原宿の街はピー クが過ぎたという見解もありますが、人がいる限り街は生 きています。

僕達は街と人を繋げる媒介者として、街にライフスタイル を形成する要素 (Art,Fashion,Agriculture,Music,Tr avel&Design)を落とし込み、マンスリーで盛り上げてい きます。イベントを通してお金や商品ではない、本当に 大切なことを問い続けていきます。それによってこれから の時代を生き抜くヒントを見いだし、そのヒントを毎月発行 しているペーパーを通して皆さんと共有していきます!

街のなかで成長してきた世代と共にTDFはブレること なく、止まることなく邁進していきます! 一つ上の男達として (とっくりセーターを着てる感じ?)。YESIIII

時代は今までにないほどの「変化」の時を迎えている。 その「変化」は地球環境や生活様式のみではなく経済も 大きく飲み込んだ。

地球が揺れ、経済が揺れている。

「変化」にこそチャンスを見いだし、制約を受けることなく 走り続ける。

変わり続ける東京の街で遊びつづける。 止まることなく。妥協することなく。 流れつづける。

Tokyo Design Flow



Domestic Foreigner's Eye

Welcome to my room!!!

原宿のど真ん中に位置するゲストハウス! そこに住む彼らの暮らしを調査してきたぞ!!

text: ToM. (TOKYO DESIGN FLOW)



そこに住むのはOtilli (オッティリ)、スウェーデンの芸術大学「KONSTFACK」と東京造形大学の交換留学生として、テキスタイルデザインを学びに東京にやってきた。彼女の部屋は原宿やシモキタで買った80'sレコードや小物、古着がひしめき合っている!! 彼女ならではのセレクトが系漁。

好きなデザイナーはジェレミー・スコット、イーリーキシモト、コムデギャルソンと、個性溢れるデザイナーから影響を受けた様で、彼女の作るテキスタイルも面白い作品が多く見応えがあった。通学のたびに通らなければならない観光客だらけの竹下通りにうんざりしながらも原宿ライフを楽しんでいる彼女。自分の住んでいるゲ

ストハウスは小さな村のようで楽しいみた い。原宿でのお気に入りの店は表参道 の餃子屋という。 渋いねオッティリ!! 原宿 のファッションシーンについて聞くと、北欧 と比べるとスタイルに幅があって面白いけ どその反面、似た様な格好も多くて個性 的な人はあまりいないかも、とのこと。な るほど、確かに一時より個性的な格好が 減ってきたのかもしれない。けど、そこが 日本の面白さでディティールの奥深さがス タイルを決めているのかもしれない。僕は ネメス流行世代なので街中にネメスが溢 れて制服の様になった時は度肝抜かれ たけど、価値の分散化によって一つのブ ランドスタイルに引っ張られることは当時よ り少なくなってきたのかもしれない。 個性 を求めない風潮が出来上がりつつある昨 今、飽和化したファッション業界の存在意 義を問わなければならない時期に来てい ると少なからず感じた。

そんな小難しい話はさておき、彼女の机の上に怪しげな男とのプリクラを発見・・・。問いつめると隣りに住むルームメートだと言う。彼の名はジョン、このゲストハウスに住んで10年経つそうだ。 ゲ



ストの域を余裕で超えてるところが凄い! 彼は一見ゲイかと思いきや、日本人の超 美人な彼女がいるらしい!! それは逆に怪 しくねー!? 彼は原宿で英会話学校を開 いているみたい。その学校は格闘技団体 「USC」に所属する選手のスポンサーを やっていたりとなかなか興味深い。NYに も学校を持っておりアートスクールやダンス スクールも開校する予定らしい。すげーな ジョン!! 広げ過ぎ!! そんな彼は今後、原宿 とNYのカルチャーを融合させたイベントを 開催したいそうだ。カルチャーを引っ張っ てくることは難しい、その土地が持つ空気 で成り立つものがほとんどだからだ。そこ をどう融合させていくのか、ジョンとの話は まだ山ほどあったが、我々はそそくさとドロ ンした。 ごめんねジョン! また今度話そう!

原宿のゲストハウスは彼らの様な素晴らしいゲストによって支えられているのであった。原宿の昼下がり、彼らと触れ合うことによって何かが満たされた。

ありがとう Ottili&John See you again!!!

Talk with Ottili.

Harajuku is fun and young and creative and have so many second hand stores and small japanese designerbrands. You can also find so many interesting shops and beautiful spots once you leave the takeshita dori and the other mainstreets and explore the smaller streets. beautiful houses and many small restaurants.

It is of course great success for H&M, but for me I find my inspiration and style in the second hand shopping and smaller brands. Of course you can find many nice things at H&M, I bought a pair of nice jeans the other day - but they want to appeal to a broader public and therefor maybe they can not afford going totally creative and crazy in their designs. I do think the many collaborations with bigger deigner houses are a great ways to make the designer clothes available for everybody - without bootlegging.

The Yanmamba girls is the teenage style I like the most - they have a great humor to it, imitating Pamela Andersson like LA babes as I understood it!

Japanese designers I like Final Home, Undercover-jun takashi, Eley Kishimoto, Jeremy Scott. Tokujin Yoshioka, Né-net (kazuaki takashima)

And I love japan - and I hope to find a project that brings me back soon. I will go back to stockholm and graduate from konstfack university college of arts crafts and design - textile departement.

And then the world is waiting!





Federico Gonzales Exhibition@THC

Text: Melanie Feindt (Cabaret) / Translation (English into Japanese): Kei Thompson

Hidden in a backstreet of crowded Jingumae is a place which is certainly different from its surrounding neighborhood. It is the Tokyo Hipsters Club. I felt a friendship with the place since I first entered it. It fits my mood, it doesn't bother, it gives space. Their cafe on the rooftop seems like a scenario of the Buena Vista Social Club, and beside delicately selected items from around the globe, THC disposes of a

spacious library, including books of Allen Ginsberg and Borroughs, as well as philosophy books and art magazines from the 60's and 70's. Further, exhibitions and performances are held in the gallery space of the second floor. I love the concept of the store: the "impoverished aristocrat", the "bohemian nomad", the definition of revolutionists, members of the Beat Generation and rock artists of the 60's and 70's as hipsters.

THC presents currently a special year end exhibition. They invited the Argentinian street artist Federico Gonzales to create artworks, prints and his toy character "Bugo" for the revolutionary concept of the store. Federico Gonzales was born in 1979 in Buenos Aires, Argentina. He studied fine arts, and graduated from Nueva Escuela in Santa Ana. He is the brand advocate of Puma in Argentina and does various street and guerilla campaigns for them. In 2008 he set

up various exhibitions in Argentina, Spain, Britain and now in Tokyo. His exhibition at THC includes prints on paper, as well as canvases and "Bugos" of an politically incorrect series.

These are iconic characters of politics, such as Karl Marx, Mao, Fidel Castro, Sadam Hussein and Hoh Chi Minh. "I'm not judging whether they are bad or good" says the artist, "They just are remarkable for the history, sometimes a good way and other in the bad way." Sadam Hussein, Hoh Chi Minh and Johnny Rotten from the Sex Pistols are available as Bugo toys as well. They are hand painted and signed by the artist.

THC shows Federico's artworks until the 25th of December and will sell his artworks and two designed T-shirts as long as the stock lasts. Please have a look an choose your favourites.

Cabaret is an international PR & Illustration Showcase that introduces international creatives to projects in Japan and Japanese creatives to projects internationally... Cabaret started in Autumn 2008 as a freelance project of Melanie Feindt, who lives in Tokyo since 2002. Born in Hamburg, Germany, she moved to Berlin, London and Paris to study fashion design. She worked as a trainee at Tsumori Chisato's design office in Tokyo, joined the Uniqlo T-shirt team

and was the international artdirector for the Design Tshirts Store graniph. There she collaborated with more than 350 international artists and created global PR and campains, such as the IdN award, the international T-shirt design award and more.



にぎやかな神宮前の裏には全く違う空間の場所がある。それはトーキョーヒップスターズクラブ。一歩踏み入った時から親しみを感じた。私のムードに合って、息苦しくなく、邪魔をしない。屋上にあるカフェはまるでブエナ・ヴィスタ・ソーシャルクラブのなかにあるシナリオだ。世界中から集まっているアイテムのほかに、トーキョーヒップスターズクラブ(THC)には広い図書室があり、そのコレクションはアレン・ギンズバーグとバロウズや哲学から60、70年代のアートマガジンまである。2階にあるギャラリーではパフォーマンスや展覧会が開かれるスペースもある。私はこの店

のコンセプトを気に入っている。それは「貧しい貴族」、「ボヘミアン・ノマド」、革命家やビート・ジェネレーションの人々、それと60、70年代のロックアーティストをヒップスターとして定義しているとこだ。

今THCでは年末の特別な展覧会がおこなわれている。アルゼンチンのストリートアーティストのフェデリコ・ゴンザレスを迎えて、彼によるTHCのレボルーションのコンセプトに合わせたキャラクターのBugoなどいろんな作品がならんでいる。

フェデリコ・ゴンザレスは1979年にアルゼンチンのブエノス・アイレスで生まれた。 サンタ・アナにあるヌエバ・エスクエラを 美術の専攻で卒業した。アルゼンチンで はPUMA などのゲリラキャンペーンをおこ なっている。2008年にはアルゼンチン、スペイン、イギリス、そして東京でエキシビションを開いている。THCでのエキシビションは紙やキャンバス上のプリントワークを含めて、ポリティカル・シリーズのBugo達がそろっている。

このシリーズでは政治の世界のアイコン達がキャラクターになっている。カール・マルクス、マオ、フィデル・カストロ、サダム・フセイン、ホーチミンなど。「彼らの善悪を判断しようとしてはいない」とフェデリコは言う。「彼らは歴史的にすごい人物なだけで、それは良い事であったり悪い事でもある。」フセイン、ホーチミン、とThe Sex Pistolsのジョニー・ロットンはプリントと別にBugoのフィギュアとしても置いてある。アーティストにより一つ一つペイントされていて彼のサイン入り。

THCのフェデリコ展覧会は12月25日までで、彼の作品と2種類のスペシャルデザインのTシャツが在庫が残っている限り販

売されている。ご覧になってお気に入りを 見つけてください。



THC 東京都渋谷区神宮前6-16-23 T.H.C.ビル 1F&2F Tokyo, Shibuya, Jingumae 6-16-23 T.H.C. Building 1F & 2F 平日/12:00 ~ 20:00 daily 12:00 ~ 20:00 www.tokyohipstersclub.com

Cabaret はインターナショナルな PR とイ ラストレーションのショーケースであり、日本 国内のプロジェクトを世界のクリエイティブ に紹介し、海外のプロジェクトを日本に紹 介している。Cabaret はメラニー・ファイン トにより2008年の秋にフリーランスのプロ ジェクトとして始まった。彼女は2002年か ら東京に住んでいる。ドイツのハンブルグ 生まれで、ファッションデザインを学ぶため にベルリン、ロンドン、とパリを回った。ツ モリチサトの東京のデザインオフィスで経 験を積み、ユニクロのTシャツチームに加 わり、Design Tshirts Store graniph の インターナショナルアートディレクターになっ た。 そこでは350以上のアーティストとのコ ラボレーションをこなし、IdN 賞やインター ナショナル・T シャツデザイン賞などのグロー バルPRやキャンペーンを立ち上げた。

Cabaret
International PR & Illustration Showcase
melanie@cabaret-cabaret.com
www.cabaret-cabaret.com

ロシアの彼と美術展

大学院入学初日、オリエンテーションで隣の席に座ってきたロシア人のロディ オンに、学内用語を片言の英語で翻訳してあげて以来、いっしょに展示会 をやったり、論文を見せ合ったり、ガスパニックでワンコインを握りしめ一緒 に酒を飲んだり。今では立派になって、キュレイターとして活躍中の彼。彼 からの誘いを受け、現在東京芸術大学の博士課程に在学するオーストラリ アからの留学生 Arryn Snowballさんが展示会をするというので一緒に見 ていってきました。会場で出会ったタマビの女の子Mariちゃんといっしょに Arrynさんにいろいろ尋ねてみました。(翻訳:ロディオン)

text: 清田直博(Media Surf Communications Inc.)



写真左からRodion、Arryn、Mari

Mari: 好きな日本のアーティストはいる?

Arryn: 会田誠さんにぜひ会ってみたいな。 彼はとても面白いペインターだよ。彼の作品を 見て美しいと言うのは簡単なことだけど、日本 の文化に対していつも挑発的だね。ちょっとサ ディスティックな表現を使ってね。

Rodion: いじめられた美味(ミミ)ちゃん!(食 用人造少女美味ちゃん: 会田誠の代表的な 作品。いろんな食べられ方をする女の子)

Mari: 日本に来て自分の中で変わった事あり ますか?

Arryn: 僕は日本語を喋れないので、そこが ぜんぜん違う。日本の人とコミュニケーション する時も簡単な英語しか使えないしね。僕の なかに二つの人格が作られて、外側の自分 は僕が言いたいことと全然違っていて、内面 の自分とは切り離されている。内面を言葉で 伝える表現を持ってないから、周りの人達も その外側の自分しかみることができない。だ から人とのコミュニケーションによって強い文化 の影響受けないね。もしかしたら他の影響を 後で感じるかもしれないし、今はその変化の 途中かもしれない、時間が経ったら見えるよ うになるかも。あと、日本は社会的なヒエラル キーが多すぎるね。それを利用して「バカ外 人 | のように振る舞えばいろいろ許してもらえる けど(笑)。

Mari: 日本の今の文化はおもしろい?

Arryn: もちろん。たくさんのレイヤーが見える

けど、コンテンポラリー、モダニスト……。こ れらはぜんぶ西洋の影響が強いけど、日本 流に曲解されてて独特だね。もっと長く日本に いると見えなくなってしまうかもしれないけど。 日本とオーストラリアは遠く離れているから、自 分の国の文化を見直すいい機会にもなって る。僕の作品は全く日本的ではないと思って る。共通点はあるかもしれないけど基本がまっ たく違うと思う。

Mari: 日本の和紙と似てますね。シーツの裾 の部分にマスキングテープではがしてある痕 跡が和紙の感じと似てる。

Arryn: それはいい視点だね、初めて言われ たよ! 作品のなかで制作のプロセスを表現す るのは意識してるよ……。(続きは実際に彼 の作品を見てみて下さい!)





Untitled I 2007 / Oil in Linen / 182,5×182,5cm



Untitled II 2007 / Oil in Linen / 182,5×182,5cm



Untitled III 2007 / Oil in Linen / 182,5×182,5cm

ロディオン・トロフィムチェンコ(Rodion Trofimchenko)

ソ連生まれ。サンクト・ペテルブルグの工学経済大 学(経営学専攻)と東欧精神分析専門学校を卒業。 2004年から2005年まで日本の流通経済大学で「日本 広告の心理的な特徴」の研究に従事。武蔵野美術大 学にて修士号取得 (テーマ: 「芸術と精神分析におけ る媒体の働きと意味」)。現在、博士課程で精神分析 と芸術における視覚をめぐる問題の研究を続ける。

『消息の形象』、『喪失に支えられるイメージ。ジョル ジュ・ディディ=ユベルマンとジャック・ラカンの理論にお ける「見ること」の分裂」、『開いた美。日本の現代屏 風』、『ネクロレアリズム』等。

「ヤング、アグレッシヴ」展、「砂男」セミナー・パフォー マンス、「視覚の設定 日本実験映像作家飯村隆彦 のアート・ツー」、「Under ConstRussian」展など。

Arryn Snowball (アリン・スノーボル)

Arryn Snowball was born in Sydney, New South Wales in 1977. In 2001 he graduated from the Queensland College of Art, Griffith University with a Bachelor of Fine Arts in Visual Art, and a year later received First Class Honours from the college. Snowball was awarded, in 2003, the prestigious Melville Haysom Memorial Art Scholarship, an annual scholarship awarded by the Queensland Art Gallery to a Queensland artist aged 25 or under. He is currently studying for his Doctorate of Visual Arts from the Queensland College of Art, and continues to lecture part-time in painting at the QCA.

(http://www.heisergallery.com.au/artists/ snowball/index.html)

St-etienne International Design Biennale

そしてビエンナーレを訪れてみると デザインの潮流が明らかにこれまでと変わっていた

text: 有馬恵子 (St-etienne International Design Biennaleコーディネーター BOTANICA主宰、国連大学文化イベントキューレター)

パリからTGVで3時間程のサンテ チィエンヌ市で2年に1度開催される サンテチィエンヌ国際デザインビエン ナーレは、フランスの一地方都市の 歴史、産業、文化を背景として独自 のスタンスを築いているデザインイベ ントである。サンテチィエンヌ市とそ の周辺都市は、19世紀にフランスの 産業革命の拠点として、石炭や鉄 鋼で栄えていた。豊富な資源を活用 し軍需産業で栄えた後は、その技 術をいかし鉄道と自転車を発明した。 優れた産業機械の技術はオートク チュールの業界でも生かされ、細か な機械技術を必要とするリボンは世 界のファッションデザイナーに愛用さ れている。また、数多くの散在する 現代建築の巨匠ル・コルビュジエの 建築物など文化遺産に恵まれた土 地環境である。しかし、60年代のエ ネルギー革命により炭坑が閉鎖され てからは、周辺地域を含めて地域 産業、経済の停滞が長く続き、土地 で受け継がれていたものづくり産業 の基盤は失われつつあった。

ビエンナーレはそのような状況のな か、1998 年地元のアートスクールが 中心となりスタートした。2006年に 初めてビエンナーレを訪問した際は、 学生中心のお祭り的なイベントだと感 じたが、デザインのビエンナーレで街 を再生するという背景に強く惹かれ たのと、大企業がグローバルにもの







づくりを展開する中で、どのようにし て地方や地方の産業が生き残れる のか、という事をデザインのフィール ド全体で考えていたこともあり、その 後何度となく現地を訪れた。

今年2008年、今回のビエンナー レが始まる直前に世界同時金融危 機があったのを差し引いても、もとも と長い停滞とアートが生活に根付い ていることから、大資本に頼らない インディペントな芸術家精神がフラン





スのデザイナーにはあった。加えて 今回は、昨今の最重要テーマであ る「環境問題」に対してデザイナー、 キュレーターが明確にメッセージを発 しているのだ。それもクリエィティブ で鮮やかな手法、まだ完成されてい ない無骨さがあるが、力のあるデザ インによって。

「もの」はかたちにあらわされるもの 以前のクリエィティブな発想により生 み出される。何か「本当の危機(かも しれない)」と思う事態に直面に瀕し た際に、ものをかたちづくるクリエィ ティブが真の力を発揮できるとするな らば、今日本では何が力のあるデザ イン力を発揮できるだろう。それはま さに直面している「環境」「サステナ ブル」の発想をかたちにすることでは ないだろうか。

なぜならば日本はものづくり産業を 捨てていない、技術力の強さが残っ ている。そして環境関係での企業や 研究機関の先端技術と開発力。ま た、日本古来よりものを長く、繰り返 し使う知恵や思想を持っている。こ れらはすべて文化と歴史が残してく れたものであり、技術とこの知恵を 融合し、鮮やかな発想を提案できた ら、素晴らしい事だと思う。

日本のデザイン業界、デザイン学 校は危機や変革にあらたなテーマや チャレンジを設定し取り組むことので きるプラットフォームだと信じているが、 「サステナブル」「環境問題」といっ た問題の情報をどれだけ正確に把 握できているのかは、疑わしい。な ぜならばデザイナーの情報源が正確 ではなく、ほとんどをメディア、ブロー ドキャストに頼っているからだ。そし てこのような課題に対しては、アート、 建築、デザインなどの分野は直面し、 取り組むチャンスが少ないのも現状 だろう。

現在日本に本部を置く唯一の国連 機関である国連大学では、「Peace Development」を重要課題として、 それらに関連する世界中の最先端 の情報が集積している。「サステナ ブル」に関しては、デザイナー、建 築家、製造業など関係分野の人々 がもっと積極的に、日本の得意分野 である環境技術力と、国連大学に集 まる情報とをうまく組み合わせて、あ らたなプラットフォームとして自由に活 用できれば、もっともっと日本発のイ ノベーション、クリエィションが生まれ るかもしれない。国連大学は、日本 と世界をつなぎ、クリエィションを起こ す場としてもプラットフォームになれる かもしれない、と思う。

新しい時代を探る旅 北欧

世界経済は混乱し、時代の潮流が変 わりつつあります。そんななか、世界 でも高齢者福祉や税金制度などをはじ めとした社会福祉制度が注目されるス ウェーデン、NOKIA やLINUX を生み 出し、世界有数の教育水準を保って いるフィンランド、そして世界中から賞 賛されるデザイン文化を築いてきたデン マークを訪れ、「サステナブル」「環境」 そして「デザイン」を切り口に来るべき新 しい時代のためのヒントを探ります。具 体的には、企業やデザイン事務所など を訪れ、デザイナーや企業経営者との セッシオンを通じて、新しい時代の価 値観を持った仕事のあり方を共に考え、 これからの変化の時代を生き抜くヒント を探ります。今年のSchooling Padの 冬のツアーはNordic Countries。今、 ヨーロッパはこの地域が面白い。

旅行期間: 2009年 2月2日(月)~2月9日(火) お一人様あたりの参加費用:368,000円(2 名様1室ご利用時) 現地参加の場合(航空券なし): 283,000円 空港税・航空保安料・航空燃油料は含まれ ておりません。 別途約55.000 円要 ☆最少催行人数 15名 詳細情報・ご質問・申込は下記URLより www.schooling-pad.jp/travel





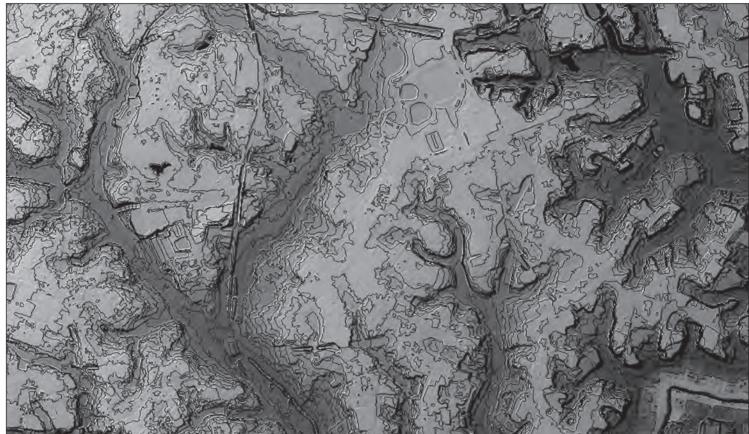
原宿エリア上空の地形図

画像の中央は青山の台地。渋谷から北に 伸びる山手線、神宮外苑などが遺跡のよ うに浮き上がって見える。



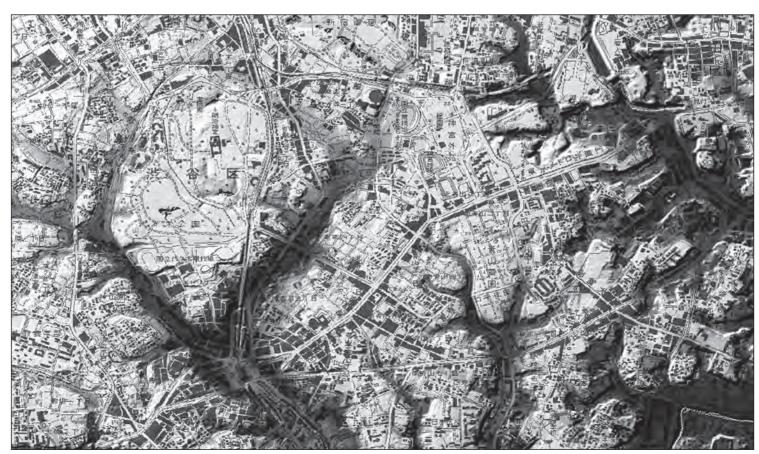
原宿エリア上空の 等高線付地形図

等高線付きの地形図。等高線の幅で斜面 の勾配が分かる。渋谷駅前は急な崖で囲 まれている。

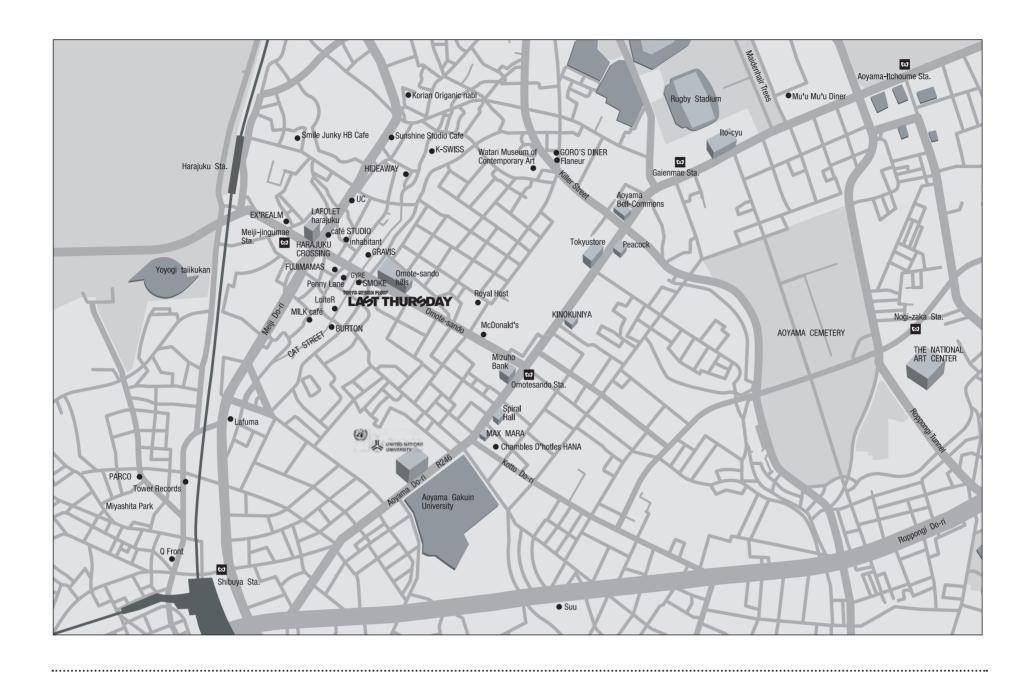


原宿エリア上空の地図と地形図

地形図の上に地図を表示。原宿台地と青 山台地の谷間を走るのが明治通り。青山 通りは青山台地の上を通り渋谷と溜池を 結ぶ。



出典:国土地理院数値地図5mメッシュ標高データ+Kashmir3D利用



地形に刻み込まれた都市の記憶

見方を変えればそこに太古からの自然を感じることができるんです。

東京の表面からビルやアスファルトをはぎ取った時に何が見えてくるのか? そこには普段は目にすることのできない剥き出しの自然が現れるに違いない! ということで、すり鉢状の地形をフィールドワークする「東京スリバチ学会」や、都市でピクニックする権利を主張する「東京ピクニッククラブ」、GPS (全地球測位システム)の軌跡をもとに地図絵を描く「地上絵師」など、都市と地形にまつわる様々な顔を持つランドスケープアーキテクト、石川初さんに地形図を見せてもらいつつお話をうかがって来ました。

大地のレントゲン写真

―細かく見てみると建物や道路の形が うっすら見えますね。

「山手線の土手や代々木公園、大規模な商業施設など、自然の山や谷以外の人工的な造成地も地形として表れるんです。例えば、千駄ヶ谷の国立競技場は渋谷川の谷間に向かってスタンドが下がっていて、自然の土手に掘り込んで作ってあり、『地形コンシャス』な建築だと言えますね。またモザイクのように見えるのは、開発の際、区画毎に土地を平坦にしていくので建築の敷地がそのまま地形図となって表れるかなが、では、マー

渋谷峡谷、青山霊園半島

「青山の台地を通っている地下鉄銀座線は比較的浅い所を通っているので渋谷の手前で顔を出す。半蔵門線はもっと深い所を通っています。銀座線渋谷駅から井の頭線渋谷駅の間を結ぶ通路、いま岡本太郎の壁画が飾られているあの通路は、渓谷に架かっている橋のようなものですね。また、青山霊園の土地は地形図で見るとまるで半島のように見えます。246号線を東に進み坂を下った所は溜池ですが、なぜ『溜池』という名前が付いているのか地形図を見れば一目瞭然です。土地の記憶と人間の党みが痕跡となって地形に刻

み込まれている。ビルとアスファルトに覆われた都市の中でも、見方を変えればそこに太古からの自然を感じることができるんです」

世界最大の「タモリの似顔絵」

一ところでボク、最近ちょっとGPSにハマっているのですが、石川さんはGPSを使っているんな地上絵を描いてらっしゃいますよね?「面白いですけど描くのはすごく大変なんですよ。独特のクリエイティビティーが必要で、地図を100年見てても浮かばない人には何も浮かばない。絵が見えたら勝ちみたいなもんです。そういえば、『タモリ俱楽

部』という深夜番組で目黒区にタモリの似顔絵を書こうという企画があり、7時間以上かけて出演者やスタッフの方といっしょに目黒区を自転車で走り回って絵を描きましたよ。『タモリの似顔絵』としては、世界最大だと思います。GPSを使った地上絵は『GPS Drawing』と言って、ジェレミ・ウッド(Jeremy Wood)というイギリスの芸術家が始めたもので、私がやっているのは彼へのトリビュートみたいなものですね」

石川さんの活動はこのサイトでチェックできます
http://fieldsmith.net/
ジェレミー・ウッド「GPS Drawing」
http://www.gpsdrawing.com





石川さんのウェブサイトより転載

TAKAN DENGAN FROM

WE ARE LOOKING FOR...

Situationist

都市に状況を創ることに興味が在る人,現代の革命家を捜しています。政治や経済よりもスポーツや文化で社会に新しい状況を作ろう。

Newser, Writer, Executive Contributer, Editor.

携帯電話一つで社会を斬る新しいニュース記者を求めています。ウェブ上に投稿するNewser、読者の評価で印刷媒体(Tokyo design Flow等)のWriterへ、そして文章の力で人々を動かす事のできるExecutive Contributor、そしてメディアサーフの新しい情報事業の編集を進めるEditor を募集しています。

Web Creator

トウキョウのデザインの流れを伝えるメディアとしての機能を果たすTOKYO DESIGN FLOWのウェブサイトを一緒に作り上げてくる方を募集しています。 アイディアとセンスで既成概念を越えていく「Web Creator」をお待ちしています。

詳しくは info@tokyodesignflow.com へお問い合わせ下さい。

LAST THURSDAY 27 NOV. 2008 REPORT













変化のカタチ

text: 萱原正嗣(カヤハラ マサツグ)

「変化」の嵐が吹き荒れている。地球環 境も生活様式も経済も、「変化」の波に 飲み込まれている。そして「変化」はつい にアメリカの政治も飲み込んだ。オバマ の当選で「変化(Change)」はいっそう加 速する予兆を示している。変わり続ける世 界の中でトーキョーは今……。毎月「Last Thursday」に起こるトーキョー自転車グ ループライドはもはや原宿の風物詩とな り、靴磨きの新しい風とビスポークレザー スニーカーという、靴にまつわる二つの動 きの出現は、ファッションの世界の変化を 予感させる。世界を包む「変化」の波が、こ こ原宿でカタチとなって現れた。



雨二モ負ケズ風ニモ負ケズ 恒例のNight Pedal Cruisingは生憎の雨。それ でも負けじと雨のトーキョーを疾走。

3.4_Live Painting & Performance by Jim Avignon

ドイツから初来日のジムがパフォーマンス。ポップ なスタイルが大受け。

5.6_ビスポークレザースニーカー 「N.G.R.」bv 名倉誠人 職人魂、ビスポークに宿る 革靴の気品をスニーカーに、職人の魂をビス ポークに。美しい佇まいに思わずうっとり。

7.8_Brift H by 長谷川裕也 足元磨けば心も躍る

お洒落は足元から。あなたの足元、丹念に、そし てスタイリッシュに磨きます。

9.10.11 DJs & Lives グルーヴを産み出すものたち DJ、ボイスパーカッション、タップダンス。様々な グルーヴがフロアを満たす。





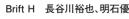






Artist's Snap! photo by Nobuya Aqune







N.G.R 名倉誠人



Jim Avignon



BENCH&SARO



大貫憲章

12.25 2008 LAST THURSDAY **Peace Night in Smoke**

People's Christmas Party in foggy Smoke

Last Thursday を企画・運営しているメディアサーフコミュニケーションズによる、

今年最後のみんなのためのクリスマスパーティー。

Music:DJ Milla、大貫憲章

Food :Special Christmas menu and BBQ at the terrace.

free drinks

Price:4500yen

Organized by Media Surf Communications with Brift H, N.G.R., Flow Stone.

都市と農の新たな関係

お金がなくとも食べていける方法

text: 萱原正嗣(カヤハラ マサツグ)



株価の下落は一段落したものの、経済の 先行きは不透明感を増しています。「勤め ている会社に影響は出ないものか?」、「い

つまで雇用は守られるのか?」、「そもそも 日本経済は大丈夫か? |。そんな不安を抱 えながら日々を暮らしている人も多いので はないでしょうか。そんなあなたに朗報で す。お金がなくとも食べていける知恵をお 届けします。

1. 都市で農~Urban Farming~

まず自分で自分の食料を作る。しかも、 田舎に引っ込まずに都市で食料を自給す る。それができれば、職を失う恐怖も、経済 の先行きへの不安も和らぐのではないで しょうか? 「そんな夢物語を…」と思われ る方もいるでしょうが、世界では実際に始 まっています。

イギリスはロンドン。 2012年のロンド ン五輪に訪れる人たちの食料を、ロンドン 市内で作ろうという活動に取り組んでい る人たちがいます。名付けて「Feed the Olympics」。 五輪 開催 期間 中に1,400 万食が必要になると言われていますが、 6,000 エーカー (24.28 平方キロメートル) の土地があれば、その分の食料を自給で きると踏んでいます。そのために、公園や 家の軒先や屋上を「農地」に変貌させよう と画策中です。

他にも、イギリスの地方都市ミドルズブラ では、学校や病院、地域センターが所有 する土地の一部を提供し、2,500人分の 食料を自給できるまでになっていたり、アメ リカでもシカゴのような大都市で、農園を

作って食料を自給したり、小さなマーケット で販売したりと、農に対する取り組みが始 まっています。

2. 都市から逃走~WWOOF~

「WWOOF」ってご存知ですか? そもそも読み方が分からない? 読み方は「ウーフ」、「Willing Workers On Organic Farms」の頭文字をとったも のです。直訳すれば、「有機農場で働きた いと思っている人たち」。

「WWOOF」とは、「食事・宿泊場所」と 「労働」を交換する仕組みです。「食 事・宿泊場所」を提供する側を「ホスト」 といい、「労働力」を提供する側を「ウー ファー」といいます。「ホスト」には、有機農 場を核として、民宿、レストラン、カフェ、など など、様々な人たちがいます。

「ウーファー」になるには若干の登録料が かかりますが、「ホスト」との関係ではお金 のやりとりはありません。あなたが提供した 労働力は、豊かでおいしい自然の恵みと 交換されます。

何でもお金に換算される、何をするにも お金がかかる、人にお金を使わせるため の広告が氾濫する、そんな都市にウンザ リしたら、都市からちょっと逃走してみては いかがですか?

番外、フリーガン

最後に番外で過激な方法を。と言っ ても暴れるサッカーファン「フーリガン (hooligan) |ではありません。「フリーガン (freegan)」。自由を意味する「free」と、 完全菜食主義者を意味する「vegan」を 組み合わせた造語です。廃棄物を回収し て再利用する人々のことです。

食料然り、生活用品然り。都市では、あり とあらゆるものが使える状態で捨てられて います。そうしたものを拾ってきては再利 用するのが彼らの生活スタイルです。ホー ムレス?違います。家もあり、職もあるのが 「普通 |の「フリーガン |のスタイルです。

ヒッピー・カルチャーを源流に持ち、大量 生産・大量消費・大量廃棄の社会・経済 システムに対抗しようという思想が根底に あります。生活コストを、資源の浪費を、廃 棄物を最小限に抑えようという運動です。

これを突き詰めると生活コストが限りな くゼロに近くなり、生活費を稼ぐために働く 必要がなくなります。そうすると、自発的に 仕事をしない (Voluntary Joblessness) というスタイルも可能になってきます。あな たなら、どれを選びますか?

革命前夜に集う人たち

まだまだ本に未来はあるのだ

text: 芝蘭友(起承転結ディレクター / スクーリング・パッド ブックコンシェルジュコース 1 期生)

電車の中で読書している人が何人いる だろう? それをチェックするのが私の癖 だ。ブックカバーをかけて読んでいる人が いたら、思わず「どんな本を読んでいるの ですか?」と聞きたい衝動にかられる。現 在、日本の出版点数は年間7万5千点を 超えるといわれているが、これは一日210 冊以上もの新しい作品が生まれている計 算になる。こんな状況で考えることはたっ た一つだ。「本当に求めている人の元に、 本は届いているのだろうか?」ということで ある。

私は著者や経営者の強みを際立たせ たブランディングを行うことが仕事なので、 コアメッセージを探し出し、表現戦略や事 業コンセプトの練り直しまでアドバイスして いる。そしてどんなときでも、「究極の消 費者であること」をモットーとしている。

目の前の人が著者であれば「私はその 人の本を買うか?」目の前の人が経営者で あれば「私はその人のサービスや商品を 利用するか?」を考えている。購入するこ とに二の足を踏むようであれば、どんな 強みやメッセージが不足しているから利用 しないのだということを明確に言葉にして 伝える。もちろん書店でリサーチすること も大事な仕事である。

しかし、そんな私もいつの間にかイン ターネットで目的買いすることに慣らされ、 どんな書店に行っても同じような本が、同 じように並んでいるだけだとリアルな書店 に足を運ばなくなっていた。

ところが、独立系書店という存在を 知ってから予想していなかった本に出

会う喜びを知る。「出会ってしまった!」 という感覚である。 先日、道玄坂を のぼり東急本店の脇道を少し行った先 にある、SHIBUYAPUBLISHING & BOOKSELLERSに行ってきた。 店の奥 には編集スペースがあり、本づくりの現 場を誰でも見ることができる。普通の書 店では、しゃがみこんで本を読むような人 は見かけないが、SPBSでは興味ある本 が棚の一番下にあればしゃがみこんで手 にとって読むことになる。客層もとてもよく、 センスのよい友人の本棚を見せてもらって いるような空間だ。そして、センスの良さ ということでいえば選書ビジネスのパイオ ニアである安岡洋一氏が経営する代官 山のハックネットも、良い緊張感が漂って いる書店だ。

そんな安岡氏が世田谷ものづくり学校 (IID) で「ブックコンシェルジュコース」を 立ち上げたと聞いてさっそく申し込んだ。 そこには第一線で本にまつわる仕事をし ている方が、毎週ゲスト講師としてやって くる。ゲスト講師はときに話しにくそうにし ながらも業界の問題点、メディアや広告 の現状、海外の出版事情を本音で語っ てくれる。どれもこれも刺激的な話ばかり

だ。私の中で何かに駆り立てられる気持 ちが日増しに強くなっていくのがわかる。

ただ何よりもすごいことはそこで共に学 ぶ人たちの意識の高さだ。多くの参加者 は社会人であり、仕事が終わってから駆 けつける。ときには隣でグルグルとお腹が 鳴る音があちこちで聞こえる。「ご飯を食 べてくると遅刻しちゃうから」と隣で笑って いる女性を見て「まだまだ本に未来はある のだ」と心が震えた。セッションも終盤に 近づいたある日、ある人からこんな言葉 が飛び出した。「いまは革命前夜だ」と。 その言葉に目が覚めた。ブックコンシェル ジュコースに集う人たちが、自らの役割 に気がついた瞬間ではなかっただろうか。 革命前夜に立ち会えた喜び。知性の危 機を打開すべく集まった志あるメンバーた ち。ここから新たなブックプロジェクトがい くつも生まれようとしているのだ。「夜明 け前が最も暗い | と言われるが、私には たしかに夜明けの足音が聞こえる。





LAST THURSDAY with CREATIVE SHOPS!

Ucess the Lounge (UC)



「もっと身近にPARTYを」をコンセプトに、 週末でも平日でも人数の多い少ない問わ ずPARTYできてご飯が食べられて音が ある店を作りたいと思い、はじめました。 その日その日で使ってくれる人が自分色に **染めてもらえればいいかたと、「結果的に** やっぱりUCだったね」なんて言われる店 にしていきたいですね。密着マンマーク でテキーラを飲みながら原宿をもりあげて いきましょう!!!!!

●イベント告知

12/27(SAT) LOUNGE ACT meets to-

TWO-too Door: FREE!!

Supported by VICE, LUMP, Chrome

GENRE ALLMIX SPECIAL GUEST

DJ ROGER YAMAHA(GOODNITE/ MOONWSLKRECORDS)

GUEST DJ: DJ USkey&NAODIDDY, DJ BINGO&JOMMY,

YO!HEY!!(ODDOJOB RECORDS), DJ NAL a.k.a RadioOne & more more more GOOD DJ'S

BALLOON: Rouvle Balloon Design

※前回満員御礼の『LOUNGE ACT』 今回もVICE,LUMP,Chromeががっつりタッグを組み そして今回はMILKでの伝説のPARTY 『to-TWOtoo」とジョイント!! ゲストにDJ ROGER YAMAHAが初登場!!! しかもエントランスはFREE!!! 是非みなさん遊びに来て下さいね!!



東京都渋谷区神宮前4-32-13 JPR神宮前5F URL:www.ucess.jp LUNCH:12:00-18:00/DINNER:19:00-mid night

LoiteR



店内は白と黒を基調に、モダンな雰囲気 で、家具は同キャットストリート沿いにある hhstyle.com のパントンチェアーやUSM ハラーの家具を使用した、一つ一つの物 を大切に作られたお店です。2階にあるこ とで、入りづらい隠れ家的な部分もありま すが、店員はアットホームなサービスという ギャップが売りです。ノーチャージなのでカ フェはもちろん、食事やお酒も気軽に楽し めます。

お店をやってて面白いのは、世界中の観 光客が集まっているということ。これだけ、 多くの外国人観光客が集まる場所もなか なか無いと思う。TDFのコンセプトである 新しい「デザインと文化の波」が生まれる 要素を持っている良い街なのに、生まれて いないのが残念。70年代、80年代に生ま れたような独自の文化を発信する、「力」や 「繋がり」が足りないのかなと思います。 TDFとの様々なイベントを通じて、街に 遊びに来る人に、原宿の地域特性をもっ と多くの人に体験してもらいたいですし、

LoiteRの空間で多くの人と人の繋がりを 生み出し、その先に生まれてくるアートやカ ルチャーを表現して、「サロン」的な要素を 築いていきたいです。そして、もう一個原 宿にLoiteR作りたいです。

随時ギャラリーやってますので、持ち込み イベントも大歓迎です!ハコ貸しもやってい るので、是非ご利用ください。



東京都渋谷区神宮前6丁目7-3 2F TEL:03-5466-1252 LO:(FOOD)23:00(DRINK)23:30 定休日:なし

430Hiroshi Uehara Interview

interviewer: MAT.(Media Surf Communications Inc.) photo: Green-G





今年 TOKYO DESIGN FLOW 「LAST THURSDAY」 で7月はキャットストリート、9月は BURTONス トア前でBMXパフォーマンスを行い、世界クラスの技で原宿の街を盛り上げたBMXチーム「430」。その 430代表の上原ヒロシ氏は韓国・釜山で行われた「TreX Games BUSAN 2008」 にもジャッジメントとして 参加し、国際的にも活躍の幅を拡げている。そんな2008年のBMXシーンからファッション、原宿について 振り返ってもらった。

--2008年BMXシーンを振り返っていか がですか?

今年は、内野洋平がアメリカで行われた 世界サーキットで優勝したり、日本人が 世界で通用するというのを改めて感じさ

せてくれた1年だった。KOG (King of Ground)という大会のスタッフをしているの だけど、大会の精度もかなり上がってきて いて今回の最終戦には、日本で行われた にもかかわらず、海外から自費で20人近

く参戦して来たことは、これからの日本の BMXシーンに世界の人間が期待している ことの象徴のように感じたね。

— 「TreX Games BUSAN 2008」 ∽

てどんな大会なんですか?

韓国の釜山で行われたオリンピック協会が 主催する大会。僕は、今回初めてジャッ ジとして参加しました。出場選手もアジア エリアだけでなくヨーロッパ、アメリカなど、 世界規模の選手が招待される大会でし た。BMX、スケート、インラインスケートな どのアクションスポーツのほかにも色々なス ポーツがあるので、すごく大きな大会でし

―実際にジャッジに参加して感じたことっ てありますか?

確実に日本人のスキルが世界レベルまで 達しているということ。そして、アジア全 体のレベルも確実に上がってきているとい うこと。ただ、ジャッジのシステムが日本 での大会とこの大会では異なっていたの でそこが一番難しかったところかな。今 回は、ヘッドジャッジに伝説的なライダー "CHASE GOUIN" を迎えていたりして 他の大会とは、少し違ったジャッジの見解 になったかなと思います。

-430 はファッションブランドでもあります が、ヒロシさんから見たアパレルシーンの 2008年は?

淘汰の時代ですね。芯があるブランドし か生き残っていけないと思います。実際、 大手に買収されたり、ブランドを休止した り、ネガティブな件も多いですが、ココに 来て新しくブランドを始めたりする人間もい る。本当にかっこいい奴は残ると思うけど。

---キャットストリートにオフィスを構えるヒロ シさんたちから見た「原宿」は今年何か 変化を感じましたか?

いわゆるメジャーブランドのアイコンショッ プがガンガンできていて、多くの人がこの エリアを気にするようになっていくんだろう なということを感じています。僕らの事務

所はキャットストリートにあるけど、周りの 建物は、がんがん壊されて新築されてい く。時代の流れの中の一番激しい部分を 肌で感じられるから、おもしろいよ。ただ、 あの建物を壊す時の地揺れは、マジ勘 弁だけどね。

--430の2009年はどういう年にしたいで すか?

今年は、動きがあまりなかったから、来年 は、動きたい。ただ、僕が今までしたこと は、若手主導でがんがん行ってほしいな。 僕は、彼らができないことや僕自身が初 めてのことにもっとトライしていけたらな、と 思って頑張ってやっていこうと思います。



上原ヒロシ 430 代表/DIRECTOR/BMX RIDER KOG OFFICIAL JUDGEMENT

1996年の4月30日に結成されたTEAM430の代表。 BMXライダーとして2001年にプロ昇格。その後、ウェ DMA フィラーとし 2001 中・フーリオ音。 つりた、ウェ アブランド「430」を立ち上げる。05 年から香港に移住 し、プロデューサー/俳優/映画監督のエリック・コット 氏に師事し、プロデュース/映像制作を学ぶ一昨年局 国後、原宿キャットストリートに430のオフィスを移転し現 在に至る。ハドソンとの映像制作やREDBULL主催の コンテストのオーガナイズなど、洋服制作にとどまらずそ の活動は多岐にわたる。旅好きとしても知られ、BMXと 共にあなたの街にもふと現れる。 www.t430.com

DBA,FOURTHIRTY presents YEAR'S END SPECIAL PARTY



スノーボード、サーフィンとピストバイク

—shingo 420 takahashi

interviewer: MAT.(Media Surf Communications Inc.)

ピストバイクショップ 「SEXON SUPER PEACE」を営むshingo氏に、雪山、海、そしてトウキョウという街で本 気で遊ぶことについて聞きに、神泉にあるショップを訪ねた。



一もともとは中野でお店をされていたん ですよね?

中野で4年半、今の場所になって先月で 1年になりました。もともとはオリジナルの スノーボードのブランドをやっていたりし て、そのブランドを扱うコンセプトショップを 開いたのが始まりです。そこでパーティし たりとかもしていたんですが、スノーボー ドのブームがいい感じのうちにやめちゃっ て、その次にサーフボードを作ったんで すよ。僕がデザインして、シェイパーにお 願いして。でも、まあ、いつもカツカツで

やってました。

―ピストにシフトチェンジしたきっかけは? とても大切な友達に「乗れ!」って言われ て。意味不明のまま。でも一度乗ってみ たらバシッとハマっちゃって。それからで すね。ピストを扱う店も当時は全くなくて。 ピストを扱う店も当時は全くなくて。まず、 ライドして楽しいし、ビジネスとしても可能 性があると思って、店で取り扱うようになり

一人を見て、その人に合った自転車を オーダーの前に組んでしまう、という噂 を聞いたのですが?

やっぱり単品で好きなものだけを組み合わ せても、最初の段階で全体像が見えて いないと組み上がったときにバランスがと れなくなってしまうし、絶対に全部組み上 がったらこっちに変えるよ、となってくるわ けです。お金が最初にかかってしまうか もしれないけども、だからこそ全体像を描 きながらこちらに任せてほしい、と思って 組んでしまうんですよ。

一スノーボード、サーフィン、ピストと共 通するところって?

全部同じですよ。ハマれるんですよ。な んていうのかな、抜けれるっていうか。た だ、スノーボードやサーフィンはわざわざ その場所まで行ってすることじゃないです か。でも、自転車は東京自体が遊び場と いうか、移動そのものですよね。それで、 スノーボードやサーフィンだったら山なり海 なりに行ってやることを自転車で街でどこ

まで出来るか、というような感じです。例 えば、スノーボーダーの友達と自転車で 街を走ってて、いいターンしたりすると後 ろのその友達が「イエーイ!」とかって叫ぶ んですよ。雪山でのスノーボードのターン のように見えてるんですよね。

一ライフスタイルとしてのピスト?

やっぱり、足の動きに完璧に連動してい るから、動いてる限り常に運動している わけじゃないですか?それだけで、すごく いいエクササイズだと思うし。例えば今日 は晴れているから、少し早めに出て遠回 りして職場へ行こう、とか、いつもと違う コースで行こうとか、生活の刺激にもなる と思うんですよね。





SEXON SUPER PEACE 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町22-5 TEL&FAX 03-3485-5506 12:30-20:30 (定休日なし)

Bike to Work!

text: 田中佑資(TOKYO DESIGN FLOW)



現代人は乗っかってる。自転車、 電車、車、船、飛行機……。便利だ。 ものすごく便利だ。技術は世界の距 離を縮め、僕らの毎日をエキサイティ ングにしてくれた。でも、ちょっと待て。 スピードも距離も、そろそろいいんじゃ ないだろうか。いまは限界を超えるロ マンよりも、もっと根源的な生き方につ いて考えたい。

1971年、世界的に公害問題が 表面化するなかで、「bicycle (自 転車)」と「ecology」を組み合わせた 「bikecology (バイコロジー)」という 考え方を提唱した青年がいた。人力 以外にエネルギーを必要としない自 転車は、環境問題を緩和するのに 最適な乗り物だ。ところで現代、環 境問題も深刻化し、交通事故も増え、 電車も満員でストレスいっぱい。 運 動不足でメタボリックな人もいっぱい。 今こそ自転車の価値を見直すべき時 がきているんじゃないだろうか。

まさしくそういった活動をしている NPO がある。バイシクル エコロジー

ジャパンがその一つだ。世界規模の 環境問題を小さなことから変えていく ために "自転車" を軸とした活動を展 開、東京のほか秋田・名古屋・福岡 などにも支部を持ち、原宿でも毎月 第二水曜日、ザ・ノース・フェイス原 宿店の前にバイカーズオアシスをつく り、自転車で通勤・通学をする方々 に朝のドリンクとおやつをサービス中 だ。考えていることは大きくても、彼ら のメッセージはとてもシンプル。「Bike to Work!|自転車で通勤しよう。

月に一度車を自転車に変えるだけ でも、見えるものが変わってくるはず だ。あのバックミンスター・フラーもこ う言った。「我々はみな宇宙船地球 号の乗組員である」と。誰しもが乗っ かってる。他人事ではない。

特定非営利活動法人 バイシクル エコロジー ジャパン www.bejapan.org

Cycle Stand Project

東京中をcyclecafeに

東京中がcyclecafeになったら、 自転車に乗るのがもっと楽しくなりそうです。

text: 八嶋 正実



クルマやオートバイより手軽で、歩くより 機動性がある自転車。ぶらぶらと街を散策 しながら、気になるお店を覗いたり、カフェ で一服するもよし。東京を自転車で走るの は楽しいですね。それなのに、きちんと止 められるところが実はあまりないのが現状 です。店に入るのに自転車をどこに止めよ うか躊躇することがよくあります。

そんな時、お店にサイクルスタンドを設 置してくれたらなぁ、と思うんです。自転車 を側に置いてゆっくり休めるようなカフェ があったら最高です。店舗のデザインを 工夫することで「cyclecafe」は実現でき る、そんなことを妄想しながら、数年前か ら仲間と一緒にイベントで仮設的にサイク ルカフェを実施したり、サイクルスタンドー 体型のテーブルを付けた再生アート自転車 「R-cycle」を作ったりしてきました。

デザインやアートの力で、一度捨てられ た自転車に再び命を吹き込み、街の姿を も変えていこうじゃないかと。そう言うと崇 高そうに聞こえますが、実際にはまず自分 たちが楽しいことが優先というユルい活動 をしてきました。そして今度は、さらに実際 の街に広げていくために、お店に置いても らえるようなサイクルスタンドを作ることに。 様々なお店の状況・シーンに合わせ、いろ いろなデザインでサイクルスタンドを作って



提案していこうと思います。

同時にもっと大きな施設や駐輪場、レン タサイクルの新しい姿も描いていきます。 そして東京中がcyclecafeになったら、自 転車に乗るのがもっと楽しくなりそうです。

八嶋 正実 (a.k.a. yassy)

1968年 北海道札幌生まれ、札幌育ち。八嶋正実デザ イン事務所代表。ショップデザインをメインにオフィス、 博物館展示デザイン、ロゴやパッケージ、プロダクトなど ータルに企画・デザインを手がける。自主提案企画と してcyclecafe (サイクルカフェ)にも取り組み、「東京 アースデイ自転車ライド や 「三宅島エコ・ライド といっ たイベントの実行委員としてアートディレクションを担当。 これら自転車プロジェクトを手がけていこうと新たに合 同会社HUBを共同代表として立ち上げた。

かっこいいホームレスと 自転車とアルミ缶の関係

かっこいいパーキングスタンドこそ、 豊かな社会の象徴のひとつだ。

text: 三輪ノブヨシ



お金に左右される人生なんてかっこ悪 いね。ちょっとのお金で、豊かに暮らせれ ば、心にも余裕ができるし、もっとみんなが 好きなことをするようになって、もっと楽しい 健全な社会になる。きっと。

ハワイでは、ホームレスのことをプロフェッ ショナルキャンパーと呼ぶらしい。おもしろ いし、自由に生きるという積極的な生き方 の一つとしている感じがいい。ホームレス にならなくても、自由に生きる選択肢が日 本にも、もっとあっていいでしょ。お金が全 てじゃないし、もっと大切なものを優先す る生き方のほうがかっこいい。それに、金 持ちがエラそうにして、弱いもん(ホームレ ス、老人、子供など)が生きにくいような貧 しい社会のままではもうダメ。それもすぐに どうにかしないといけないのだ。

私は自転車が好きだ。乗っていて楽し いし、かなり楽に移動ができるし、なにより かっこいい。だからどこにでも自転車で行 けたら最高だね。

私の自転車好きとは関係ないけど、世の中 は人より地球への優しさを競うエコブーム だ。当然、自転車がクローズアップされるく せに、安心して自転車を置く場所があまり ない。ちょっと置くと放置自転車として悪者

扱い。外国にはかっこいいパーキングスタ ンドがフツーにどこにでもあるのに。これも 貧しい社会の証だね。自転車を薦めるが らには、自転車くらいどこでも止められて 当然でしょ。狂ったように駐禁をとりまくる 緑の監視員に税金を使うくらいなら、 それぐらい簡単にできる。

ホームレスの集めているアルミ缶を原料 に自転車のパーキングスタンドを作れない か?思いつきのK氏が言った。集めて、作っ て、それを売って、その利益で、集めたアル ミ缶を買う。ちゃんとサイクル (循環)ができ る。かっこいいではないか!リサイクルという 言葉は、実際どうなっているのかわからな いことが多いけれど、これはどれもちゃんと 目に見えて繋がるのがいいのだ。役人は 不必要な支援はやめて、(役人よ。邪魔す るな)自由にアルミ缶を集めさせるだけで いいから、これも簡単でいいのだ。こうして できるかっこいいパーキングスタンドこそ、 豊かな社会の象徴のひとつだ。まあ妄想 にならないように、まずは作らないと。かっ こいいデザイン、お楽しみに。





三輪ノブヨシ 立体アーティスト、インテリアデザイナー、自転車デザイ ナー。早稲田大法学部卒AIU保険会社7年勤務後、 足掛け2年間旅に。1998年、自己流にて彫刻っぽい家 具をデザインし自ら作り始め、その趣味を仕事にして現 在に至る。華やかな経歴はないが、奇跡的にこれで充分食えてる。最近は自転車メーカーシルクサイクルの自転車のデザインと実際に貨物用の三輪自転車を自ら溶 接して作たりもする。仕事系三輪自転車普及を企む。変わったデザインの自転車のコレクションもあり。

チャリのフロウ

放置自転車の行く末追跡企画の第2回。 今回は実際に突撃取材に行ってきました。

text: 清田直博(Media Surf Communications inc.)

放置自転車撤去の件、不満ばかり 言っててもしょうがないので、撤去され た自転車がその後どんな流れでどこに 行っているのか? を追って見た。まず最 初は正面から攻めてみようと、渋谷区役 所に行って来た。受付で撤去自転車の 担当課がどこかを聞くと土木部管理課 ですということで、土木部管理課管理交 通係の係長さんが応対してくれる。

渋谷区では駅前など駐車禁止場所に 置いていて撤去された場合、まず区内五 カ所の集積所のどこかに持って行かれ る。そこで1ヶ月間保管し、持ち主が現れ ない場合は指定業者により引き取られて しまう。渋谷区が管理するのはこの保管 所まで。そこから先の流れは渋谷区とし ては関知しないとのこと。

現在渋谷区には駅周辺に50カ所、 6,900台分の自転車駐車場 (駐輪場)を 整備しているそうだが、特に渋谷区は地 価が高いので駐輪場用のまとまった用 地確保も大変らしく、なかなか便利な場 所に駐輪場を作るのは難しいとのこと。 よって民間の施設などによる自主的な



整備に任せているのが実態のよう。気に なる撤去台数は平成18年度では撤去 36,544台、返還が21,598台、処分される のが21,440台。年間2万台以上が処分 されている。この約2万台の内、状態のよ い自転車の一部は区によって再生され、 年に一度代々木公園で開催される「渋 谷区民フェスタ で販売される。

再生されずに処分された自転車の行 方が知りたい訳だが、そこから先はしつ こく聞いてもなかなか教えてくれない。最 近、自治体から回収された中古自転車が

経済制裁中の北朝鮮に輸出され、ぼろ 儲けしている業者がいるなどニュースで も報道されたりして、そこらへんの話題 に関してすごくナーバスになっているの かも。あくまでも自力で調べてくださいと突

ここで力を発揮するのがインターネッ ト。しらみつぶしに調べていくと、ある業 者にたどり着いた。すぐに電話し、載って いた住所を頼りに西武新宿線に乗り東 京郊外へ。が、いざ着いてみるとそこは マンションの一室、「担当者がいません」



の一点張りで今回は結局真相にはあり つけなかった。なんらかの利権が絡んで いるのか、ちょっと闇を感じる……。 そこで次回は逆ルートからの取材を試み ようと思う。先月ヤフオクでも「輸出用の 自転車100台まとめ売り!」というタイトル で10万円で出品されてたり、アジア諸国 への中古自転車の輸出が激増している などのニュースもあるので、港の輸出現

場へ取材に行ってみよう。

N.G.R×Brift H 生き方にマニュアルなんてない。-A Hard Live.-

長谷川さんは靴を磨いてるのではなくて、人生を磨いてるんですね(笑)。(名倉誠人) 名倉さんの靴をきっかけにモノ選びの基準を学んだりできる。(長谷川裕也)

インディペンデントで自らの道を切り開き、靴の文化に新しい流れをもたらしている、ビスポークスニーカーブランド「N.G.R.」名倉誠人と靴磨きに新しい価値を与えた「Brift H」長谷川裕也。今後大きな潮流を生み出すであろう両者が対談した。

text: 大矢知史(TOKYO DESIGN FLOW)

—まず名倉さん、11月27日のTOKYO DESIGN FLOW 「Last Thursday」メ イン会場SMOKEでのN.G.R. 受注会は いかがでしたか?

名倉誠人(以下、N)初の受注会だったんですが、お客さんと話していると今の時代性を感じることができました。というのもデザイン的なものをあまり求めていない気がしたんです。今の時代マーケティングをして流行を取り入れて、海外で大量生産したプロダクトを売りさばく、というシステムが一般的だと思うんですが、会場に来たお客さんから感じたものは、より本質的なモノ、デザインにしても機能とデザインのバランスがとれているモノがすごく求められているな、と感じました。

長谷川裕也(以下、H)確かに今までのプロダクトは機能を追求し、デザインがそこに入り込む。という形だったのに、今はデザインに引っ張られるという逆の構図が生まれてきているかもしれないですね。

—長谷川さんはBrift (Bright Foot)の 実演をされてみていかがでしたか?

H そこでしか会えないお客様や普段接することのないお客様に靴磨きを知っていたける機会だったのでとても新鮮でした。若い人たちに靴磨きという一つの文化を体験してもらえるというのはありそうでないんですよ。 興味がないのかなと思いきや、磨くとすごく喜んでくれたのが嬉しかったですね。また是非やりたいです。

一先ほどデザインの在り方という話があがったんですが、今の時代本当に必要なデザインとは何ですか?

N 今の時代、大量生産で使い捨てありきのモノ作りをしていて、靴も1万円で何足も買える時代じゃないですか。でももう使い捨ての時代じゃないと思うし、長谷川さんのやられていることもシューケア含め、生活スタイルにまで入り込んだ考え方だと思うんです。僕がやっている靴も使い捨てを考えていないのでソールも何度も張り替えることができたり、革も何度も使っていくうちに味が出るというストーリーがあって、自分の作った靴を履いてくれるお客さんが自分なりのストーリーを作っていく、その一人一人のプロセスがストーリーであ

り、本来あるべきデザインだと思うんですよね。

H 基本的には一緒のスタンスなんですが、靴磨き自体まだ世間一般に浸透しているものではないので、デザインというより見せ方がとても重要になってきます。そういう意味では空間や会話の間であったり、店内で生まれるすべてのものがデザインと

日 僕たちがやってることは商売ではなくて 革命です。この店 (Brift H) を作った理 由は2つあって、1つ目は靴磨き職人の地 位を向上させるってことと、靴磨きというも のの価値を上げることです。 完全なるレ ボリューションです。 その意識が支えです ね。 お金じゃなくてこの店があって、日本 中に靴磨きの文化が浸透したと言われるく

も言えますね。

N ここ (Brift H) で靴を磨いてもらった人は生活スタイルが変わると思うんですよ。「ありがとう」で終わるのではなく、人を変える力を持ってると思うんですよね。 H 磨くとまず歩き方が変わりますからね、姿勢が変わると人としての魅力があがると思います。



一この不況と言われている時代にインディペンデントで自らの道を切り開いている2人を支えているもの、培っている信念はありますか?

らいになりたいですね。 N 長谷川さんは靴を磨いてるのではなく て、人生を磨いてるんですね。



H キターーーー!!!! 嬉しいお言葉ですね。本当にそうありたいと思います。 N モノを大事にすること。それは当たり前のことなんだけど、不況不況と言われているなかで、産業自体がそういう姿勢をこれから求められていく気がしますよね。原点を問い続けることが大切になってくる気がします。

―名倉さんは靴作りをする上で自分を支

えているものは何ですか?

N 信念というのは、やり続けていくことに よって培われていくものだと思うんです。 大手のメーカーなどは資本の力で技術開 発などやりたいことができるけど、一個人 がどこまで追求出来るのかということがや りがいやモチベーションに繋がっていると 思います。反発心があるのかもしれない。 H アンチテーゼは誰しも持っているもの、 でもそれだけでやっていくことは無理があ る気がしますね。僕が22歳の時に靴磨 きを始めたときも小学生の時から誰かに 雇われずに一人で生きていきたいという強 い思いがあったからこそ今に繋がってる と思うんです。インディペンデントは楽じゃ ないし、やるかやらないかで決まるという 印象を受けますが、それだけじゃ多分成 り立たなくて、本当踏ん張らないといけな い時って沢山あるじゃないですか。やめ ちゃえば楽になることはいっぱいある。名 倉さんのやっていることはカルチャーを創 ることだと思いますし、共鳴する部分が 多々あって互いに足元から革命を起こし たいと思います。名倉さんの靴をきっかけ にモノ選びの基準を学んだりできる。そし て、うらやましいのは一から自分の手で作 るという点です。自分の作ったものの過 程が見れる。僕達は靴磨きなので、一か ら作るものではなく既存のモノに輝きを与 える職業です。汚れたら磨いての繰り返 しで、作業だけで言うと単純作業に近い んです。お客さんが磨いた靴を大切に履 いてまた磨きに持ってきてくれることも、も ちろん嬉しいんですが、名倉さんのお客 さんが、自分の作った靴に履き皺を刻ん でるのを見る喜びは何事にも代え難いと

N 僕は長谷川さんの靴磨きという着眼点が凄い面白いと思いました。ただ靴磨きが良いんじゃなくて長谷川さんの生き方が良いと思うんですよね。磨くことだけを売ってるのではなくて長谷川さんの人生だったりストーリーを売ってる気がしますし、お客さんもそこにBrift Hの価値を見出している気がします。今後、お互いに靴の文化に新しい流れを創りだせればと思います。











Makoto Nagura 2001 年、靴職専門学校入学、ハンドメイド靴製造全行程及び足学、皮革学、単個設計木型、シューズデザインを学ぶ。03 年、木型制作会社に就職、木型、靴底、ヒール企画開発に携わる。08 年同社を退社し、スポーツメーカー契約選手オーダーメイド制作会社で大森氏に師事。靴制作、オーダーメイドを学ぶ。同年11月ビスポークスニーカーブランド「N.G.R.」を設立。足を計測し、木型から制作するオーダーメイドシューズ。見た目は、革靴の良さを出し、履客心地は、スニーカーのような快適さ軽量性を出し、履客心地は、スニーカーのような快適さ軽量性アルトを開い、スポーツメーカー仕様アナトミカルソールを使用。

Brift H

*

干葉県木更津市生まれ。高校卒業後、新日鉄君津工場での三交代勤務、英会話教材のフルコミッションセールスを経て、20歳になったはかりの春、年一文状態にかけらればからる。 日銭稼ぎの為に東京駅丸の内口の路上にて靴磨きをスタート。その後アバレルの販売をしながら品川駅港南、口に活動拠点を変え、口コミにより今や路上だけでなん企業と提携、個人宅にお伺いし靴を磨く出張靴磨き、全国の靴好きの為にと宅配靴磨きを展開。百貫店、一流ブランドを中心に「靴磨きバフォーマンス」等、様々な方法で日本の足元に革命を起こしている。その靴が最大限魅力的になるよう光を与え、全ての作業を昔ながらの伝統的な方法に研究を重ねた独自のノウハウを取り入れ、一足一足を手作業にこだわり磨きを施す。

Farmer's Market@GYRE REPORT



ORGANISER

食卓を彩るイマジネーション

text:田中佑資(TOKYO DESIGN FLOW)

11月29日(土)、30日(日)と2度目の Farmer's Marketを開催しました。2度目にして既にリピーターの方が訪れてくださり、「毎月開催案内をください」と連絡先を預けてくださる方も多く見られました。今回から、総合的な商業施設であるGYREの特長を生かし、食料品店やレストラン・カフェとのコラボーレーションにも挑戦しています。まだまだ発展途上のイベントですが、Farmer's Marketにはいまの都市生活に欠けがちな生きることや食べることの感動的な部分を取り戻す力があると信じています。次回は12月20(土)、21日(日)。クリスマスにふさわしい演出で盛り上げますので、お楽しみに!

PARTNER (出店者)

大綱ガーデン まだまだ都会に木が足りない!

text:酒井栄一(大綱ガーデン)

2008年も地球温暖化・異常気象など聞かない日はありませんでした。それは僕ら植物を扱っている人間にとっては「恐怖」さえ感じることがあり、とても切実な問題に直面している事を肌で感じる瞬間でもあります。真夏に気温が上昇し水切れで樹木の葉がしおれているのを見ると焦ります。なんとかしないと人間はもちろんの事、動物など様々な生き物の行き場がなくなり地球には住めなくなる日が近いです・・・・・。脅す訳ではありませんが結構やばいところまで来ている気がします。今日からでも遅くないので二酸化炭素を削減してくれる相棒としてグリーンと付き合い、今起こっているさまざ

まな問題を『より深く理解する』ということから始めましょう。それを「理解」するためには「感じる力」(感性)とそれに対する「行動力」とが必要だと思います。簡単なことから始めその輪を大きくしていけば食い止める事ができる。今できることをみんなで楽しくやりたいものですね。Farmer's Marketではマーケットを通じリアルな環境問題を伝え、その問題に対してデザインを加える事でいかにpeaceになるか。異業種とのコラボで環境にやさしくhappyな風景を造りだしたいそう考えております。あまりお手軽な話ではありませんが未来の笑顔を考えると実践できるかと思います。

酒井栄一

油井宋一 1972年生まれ。21歳の時アンダーグラウンドでハウス ダンスチーム結成。クラブイベントのダンスショーのパ フォーマー・総合演出など経験後、舞台総合演出会社 に入社。芸能人などのプロモーションビデオなどの演出。 振り付け開始。27歳ふとした事から人の動きより植物



樹木に興味を持ち造園総合演出(有限会社大綱ガーデン入社)に転身。数々のガーデニングショーに出展・優勝経験を持つ。現在はプロジェクトマネージャーとして商業施設・個人宅のグリーンや福祉施設などに自然に触なる機会を提供中。樹木のプロとしてFarmer's Marketをサポート。







ウィース!! Tokyo Design Flow 実行委員会事務局長のトモジです。

6月から始めたマンスリーイベントTDF(Tokyo Design Flow)も12月で7回目を迎え、新たな時代の幕開けを予感し始めている人々と共に原宿、 表参道を中心にライフスタイルを形成する要素を街に落とし込みイベントを展開しています。不況不況と言われている中で、

欲を駆り立てるブランド広告もキラキラと輝きを放つショーウィンドウからも、気怠い香水の残り香しかしない。後は自分の汗の香り、う〜ん、マンダム。。 商業主義の波に飲み込まれた街をもう1度僕らの手に取り戻すべく、互いに牽制し合うのではなく、

スポーツ同様にルールの中で思いっきり遊べるファールグラウンドをこのイベントを通して作り出していきたいと思う。

No Pain, No Gain.

痛み無くして前進なし!! 痛みも喜びもみなで共有し街に光を照らし出す。

そこに僕らの求めるストリートの未来がある。

今年も来年もギリギリボーイズ達が東京を盛り上げてくんで宜しく。

原宿で食い込みパンツを見つけたらそれは俺たちです。

TDF ToM.

25 Dec. 2008

MONTHLY EVENT

FORM DESIGN FROM

LAST THURSDAY

ART, FASHION, FOOD, TRAVEL, SPORTS, MUSIC and DESIGN.

www.tokyodesignflow.com

